

テーマ【くらしをささえる水～南部水みらいセンターを見学して～】

泉南市立新家小学校

《学習のねらい》

- ・飲料水の確保は生活に不可欠であることや安全な水を確保するための工夫や努力が分かる。
- ・飲料水の確保が組織的・計画的に進められていることによって、地域の人々の健康な生活の維持と向上が図られていることを考えることができる。
- ・下水処理の施設や仕組みの必要性・重要性を理解し、日常の生活と下水道との関わりを考える。

《学習の流れ》 実施時期 平成29年6月

- ①家や学校ではどんなところで水が使われているのか、またそれ以外でどのように使われているのかを調べ、くらしの中で水がいかに大切かを知る。
- ②自分たちが使った水が、排水溝に流れ、その後どのような道筋で処理されているのかを調べる。
- ③南部水みらいセンターに見学に行き、浄水の工夫や上下水道について理解を深め、これからの環境を守るために、自分たちにできることは何かを考える。

《指導のポイント》

- 自分の毎日の生活と深い関わりがあることに目を向けさせるために学校だけでなく、家でも調べ学習をするようにした。
- 使う水と、使った水が別のものではなく、同じものであり、限りある資源のひとつであることを理解させる。
- 壁新聞にまとめ、自分たちにできることは何かというところまで考えさせるようにする。



《活用したプログラムや教材、ゲストティーチャー 等》

南部水みらいセンター職員



《成果（児童・生徒の感想や反応 等）》

- ・見学したことを、「水みつ新聞」にまとめ、環境を守るためにひとりひとりができることを学び考えることができた。

【児童の感想から】

- 水がきれいになるのに24時間もかかるなんてビックリした。これからの生活で、油や野菜くずを流さないこと、トイレに溶けない水は流さないことや水を大切に使うことを学びました。
- 微生物の力で水がきれいになるなんて知らなかった。
- 水をきれいにするために多くの人が働いてくれていて、自分たちにできることは自分たちでやろうと思いました。
- 学校だけでなく、家でも学習したことを生かしていこうと思いました。水の大切さが分かりました。